



令和3年8月の大雨災害の活動報告集

～コロナ禍の被災者支援活動について～

目次

第1章 令和3年8月の大雨災害発生の経過

1 大雨災害発生の経過	4
2 被害状況	5

第2章 被災者支援活動の記録

1 広島市・区社会福祉協議会の動き	8
2 市災害ボランティア本部の動き	11
3 活動実績	12
4 被災区社会福祉協議会の動き	13
(1)西区災害ボランティアセンターの活動	13
(2)安佐南区災害ボランティアセンターの活動	18
5 対応経過	23
6 関係機関・団体との連携	25
7 被災者支援活動の成果と課題	26
8 支援に携わった関係団体からの声	29

資料

1 事前登録災害ボランティア募集チラシ	30
2 令和3年8月11日からの大雨に伴う災害ボランティア事前登録の流れ	31
3 災害ボランティアの支援に係る問診票兼同意書	32
4 西区災害ボランティアセンター閉所のお知らせ(チラシ)	34
5 安佐南区災害ボランティアセンターのお知らせ(チラシ)	35
6 安佐南区災害ボランティアセンターオリエンテーション配布資料	36

はじめに

令和3年8月11日からの大雨災害は、広島市を含む全国各地に甚大な被害をもたらしました。ここに改めて被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

広島市では主に西区・安佐南区において被害が確認されたため、8月18日に広島市災害ボランティア本部及び西区災害ボランティアセンター・安佐南区災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災された方々が一日でも早く日常の生活を取り戻せるよう、地(学)区社協、町内会等地域団体の方々や行政機関、NPO、ボランティア団体等と共に被災者の支援活動を行いました。多大なるご協力をいただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

これまで広島市内で災害が発生した際は、全国各地から多くのボランティアの皆様にご協力いただいておりますが、この度の被災者支援では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、原則ボランティアを事前登録制とし、募集範囲も広島市内在住者としました。コロナウィルスを「持ち込まない」「持ち帰らない」「広げない」ことに十分配慮し、体温測定・マスクの着用・手指消毒・手洗い・うがいの徹底、募集人数の制限等感染拡大防止に取り組みながら被災者支援を実施しました。

この度の被災者支援活動で特筆するのは、発災後ただちに被災地域の地区社協、町内会等地域住民の方々や被災者支援を行うための準備を進められ、地域住民の方々を中心となって被災者支援活動を行われたことです。日ごろから顔の見える関係性がある地域住民が中心となって活動されることにより、被災者の方々が安心してボランティアを受け入れることもできました。

こうした被災地域での取組を踏まえ、コロナ禍においても工夫しながら被災者支援に取り組んだ活動の振り返りを行い、今後の被災者支援活動の参考とするため、『令和3年8月の大雨災害の活動報告集』を作成しました。本書が、関係者の皆様の参考となれば幸いです。

本会は、今後とも地域の皆様並びに関係機関・団体と連携し、被災者支援活動に尽力して参りますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本書の作成にあたりご協力いただきました関係者の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

令和5年(2023年)3月

社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
会長 永野正雄

第1章

令和3年8月の 大雨災害発生経過

1 大雨災害発生の経過

気象状況

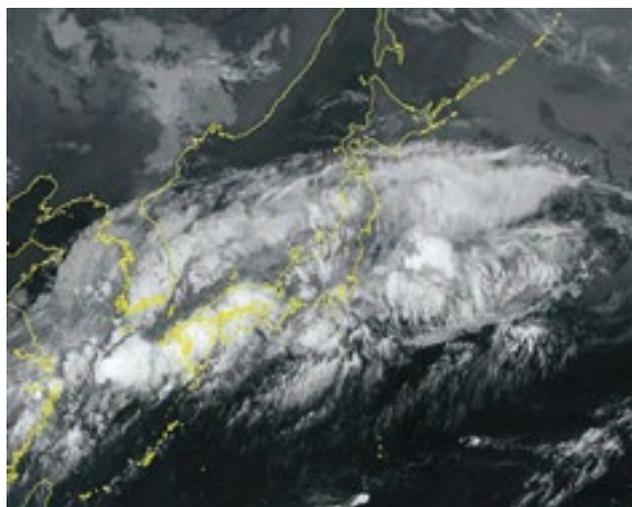
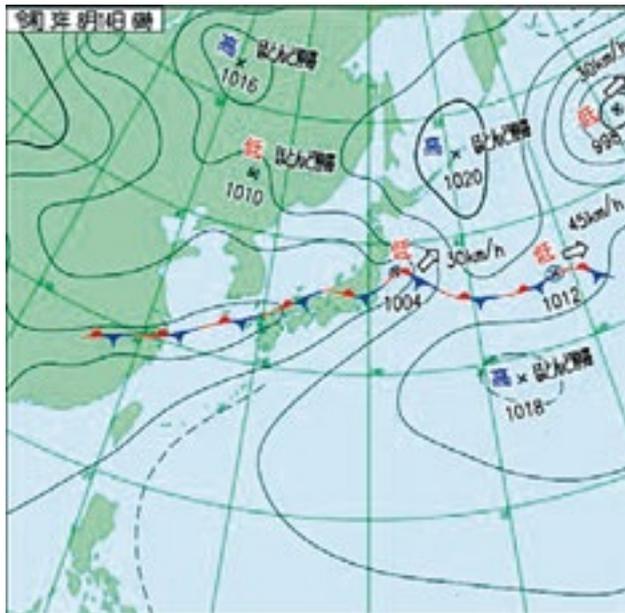
令和3年8月11日から19日にかけて、日本付近に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった影響で、西日本から東日本の広い範囲で断続的に激しい雨が降り、総降水量が多いところで1200mmを超える大雨となりました。

九州・中国地方では局地的に線状降水帯が形成され、激しい雨が数時間降り続き、複数の地点で24時間降水量が8月の値の1位を更新するなど、記録的な大雨となりました。この大雨に対して、広島(広島市、廿日市市)、長崎、佐賀、福岡には大雨特別警報が発表されました

広島県では、8月12日から15日にかけて線状降水帯に伴う非常に激しい雨が同じ場所で降り続き、「平成30年7月豪雨」を超えるような記録的な大雨となりました。

※祇園山本雨量観測所：令和3年8月12日から15日までの72時間の総雨量が632mm

実況天気図



2 被害状況

令和3年8月11日から19日の大雨により、広島県内の総雨量400mm以上を記録した地域では、土石流やがけ崩れが発生し、大量の土砂や流木により大きな被害が発生しました(被害状況の各表は、広島市内の数値)。

人的被害

区分	死者	行方不明者	重症者	軽傷者
人数	1名	0名	0名	0名

住家被害

区分	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
件数	8棟	17棟	20棟	18棟	40棟

出典：広島市ホームページ

【西区田方】



【安佐南区山本】



【安佐南区伴】

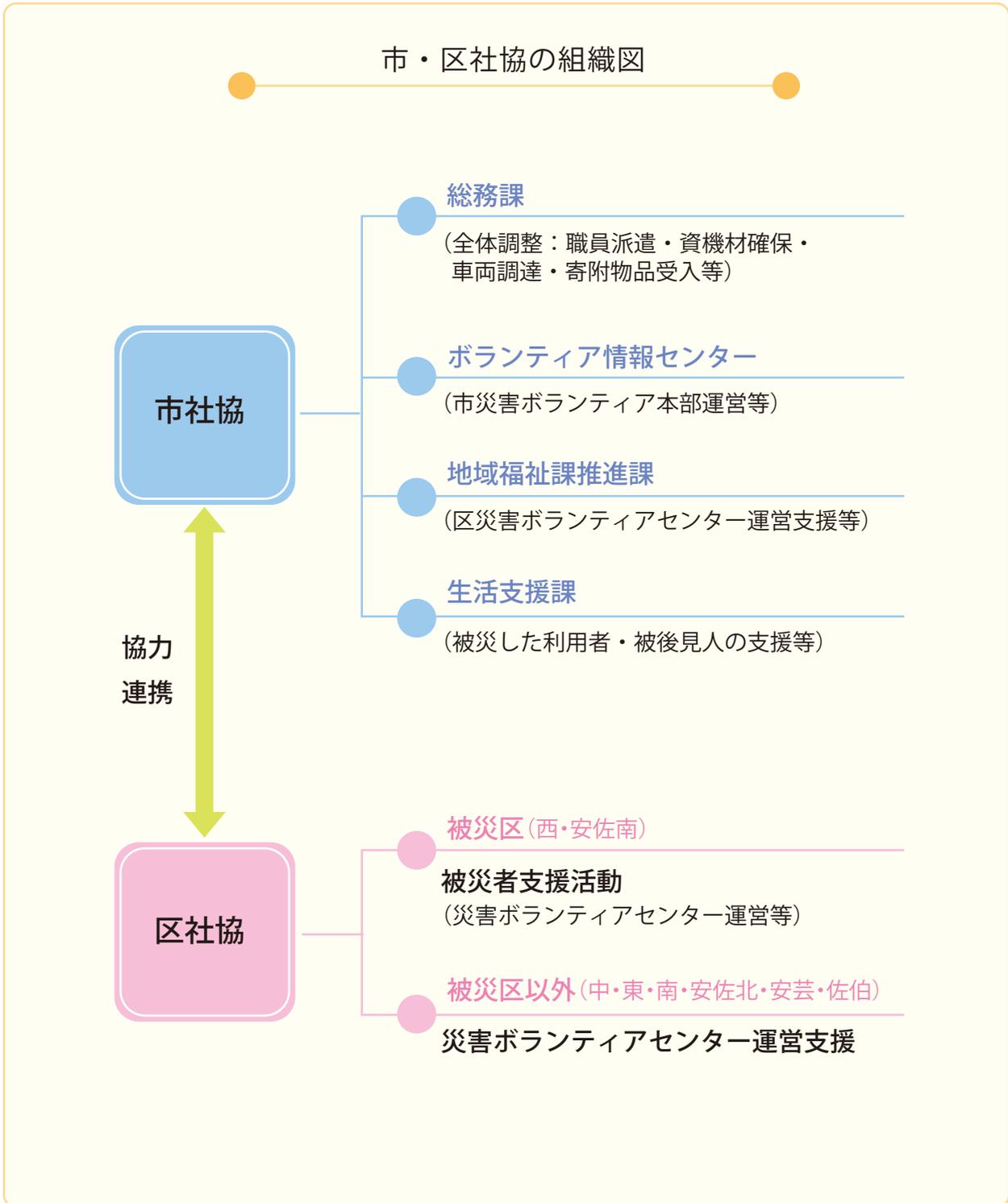


第2章

被災者支援活動の記録

1 広島市・区社会福祉協議会の動き

広島市社会福祉協議会及び区社会福祉協議会(以下「社協」という。)は、令和3年8月大雨災害の被災者支援活動のため、各部署が連携しながらそれぞれの役割を果たしました。



1・総務課

大雨災害が発生した翌週8月16日(月)、職員・家族の安否確認や指定管理施設等の被災状況について、各所属を通じて確認しました。

同日、市社協の幹部職員及び8区社協の事務局長による臨時事務局長会議を開催し、現時点で把握している被災状況の情報共有及び災害ボランティアセンターの開設について協議を行い、開設判断のために区社協から地区社協関係者等に連絡し、地域ごとの被災状況の確認を行うこととしました。

翌8月17日(火)、再度事務局長会議を開催。区社協が行った被災状況確認の結果、被害が大きい地域は西区及び安佐南区であることを確認し、西区・安佐南区に区災害ボランティアセンターを設置するための準備を開始しました。

事務局長会議での確認を受け、市災害ボランティア本部及び西・安佐南区災害ボランティアセンターで活用するコピー機や携帯電話の準備、車両(軽トラック・ライトバン等)の確保を行うとともに、災害ボランティア活動で活用するスコップなどの資機材を資機材保管場所(安佐北区スポーツセンター設置倉庫、己斐上小学校空き教室)から区災害ボランティアセンターまで運搬する調整を行いました。

また、区災害ボランティアセンターを運営する区社協支援のため、市社協及び被災区以外の区社協職員の派遣調整を行いました。なお、過去の災害において西区社協は区災害ボランティアセンター開設の機会がなく、区災害ボランティアセンターの立ち上げ経験のある職員がいないため、職員派遣に際し、立上げ支援枠(区災害ボランティアセンターの運営経験がある職員)を設け、区災害ボランティアセンターがスムーズに立ち上がるよう配慮しました。

2・ボランティア情報センター

大雨特別警報が発令された8月13日(金)から大雨や被災状況の情報収集を行い、災害発生に備えました。

8月16日(月)、広島市災害ボランティア活動連絡調整会議(以下「連絡調整会議」という。)(注1)の議長である市社協(ボランティア情報センター)、副議長の特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター(以下「ひろしまNPOセンター」という。)、事務局を担う広島市の3者により対応を協議し、市災害ボランティア本部及び西区・安佐南区災害ボランティアセンターの設置並びに被災者支援のボランティア活動は8月22日(日)の開始を目指し準備することで決定しました。

その後、市災害ボランティア本部及び区災害ボランティアセンターの立ち上げ準備やマスコミ対応、市社協ホームページによる災害ボランティア活動に関する情報発信等を行いました。

市災害ボランティア本部開設後は災害ボランティア本部のスタッフとして、本部運営に尽力しました。

3・地域福祉推進課

西区災害ボランティアセンターへ職員を派遣し、区災害ボランティアセンターの運営に尽力しました。

4・生活支援課

発災の知らせを受けて、まずは被災地に住む福祉サービス利用援助事業「かけはし」利用者及び成年後見事業で関わる被後見人等の安否確認を行いました。

福祉サービス利用援助事業「かけはし」、成年後見事業、生活困窮者自立支援事業については、対象となる方の生活そのものを支える個別支援業務のため平常通りの事業運営を継続しました。

5・被災区以外の区社協

西・安佐南区災害ボランティアセンターへ職員を派遣し、区災害ボランティアセンターの運営に尽力しました。

区社協の応援体制については、通常業務との兼ね合いなどもあり、職員の派遣日数や派遣人数などは状況に応じて市社協総務課が調整を行いました。

(注1) 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議

年1～2回、構成団体による会議を開催し、災害ボランティアに関することについて、情報交換を行うほか、災害時におけるボランティア活動に関する課題の検討などを行い、災害時における災害ボランティア活動の環境整備を図る組織です。

(構成団体)

(社福)広島市社会福祉協議会 広島市民生委員児童委員協議会 日本赤十字社広島県支部
(公財)広島YMCA 広島市地域女性団体連絡協議会 日本ボーイスカウト広島県連盟
(一社)ガールスカウト広島県連盟 (一社)広島青年会議所 広島商工会議所
連合広島 広島地域協議会 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター SeRV広島
認定特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぽん 特定非営利活動法人ANT-Hiroshima
カトリック広島司教区平和の使徒推進本部 広島県災害復興支援士業連絡会 生活協同組合ひろしま
(公社)青年海外協力協会中国支部 特定非営利活動法人もりメイト倶楽部Hiroshima
特定非営利活動法人ひろしま自然学校 (公財)広島市文化財団 広島市防災士ネットワーク 広島市

2 市災害ボランティア本部の動き

広島市域では、災害時に連携して災害ボランティア活動を支援するために、市社協、ひろしまNPOセンター、民児協、生協、YMCA、NPO団体、広島市など23団体で構成する連絡調整会議を平成9年に設置しています。

今回の災害については、発災翌週の8月16日(月)、連絡調整会議の議長である市社協(ボランティア情報センター)、副議長のひろしまNPOセンター、事務局を担う広島市の3者協議により、市災害ボランティア本部及び西区・安佐南区災害ボランティアセンターを8月18日(水)に開設し、被災者支援のボランティア活動については8月22日(日)の開始を目指すことを決定しました。

市災害ボランティア本部の設置場所については、「広島市災害ボランティア本部運営マニュアル」において、広島市総合福祉センター内に設置することとしていますが、今回の災害においては、西区災害ボランティアセンターの運営支援を手厚く行う必要があったため、西区地域福祉センター内に設置しました。

市災害ボランティア本部の開設後は、マスコミ対応、災害ボランティア活動に関する情報収集、情報発信、関係団体との連絡調整および区災害ボランティアセンターの後方支援を行いました。

市災害ボランティア本部は、市災害対策本部と連携し、被災状況や被災者支援のための制度・サービス等の情報を収集し、各区災害ボランティアセンターへ情報提供するとともに、ボランティアが活用する駐車場について広島市関係課に調整を依頼する等、被災者支援活動がスムーズに行えるよう努めました。

また、被災者支援活動についての経験が豊富なプロボノ(注2)団体を区災害ボランティアセンターにつなぎ、家屋内に入った土砂を重機により撤去したことにより、想定より早く復旧作業を行うことが出来ました。

ボランティア活動の実施にあたっては、ボランティアの安全確保のため、雨天時でのボランティア活動の中止を決めたほか、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、体温測定、マスク着用、手指消毒や、「三密」の回避を徹底しました。また、区災害ボランティアセンターへ看護職の派遣調整を行うことにより、熱中症予防や新型コロナウイルス感染拡大防止を図りました。

区災害ボランティアセンターを9月30日(木)に閉所したことに伴い、連絡調整会議の決定を経て、10月22日(金)に市災害ボランティア本部を閉所しました。

● 広島市災害ボランティア本部 ●

開設日 8月18日(水)

設置場所 西区地域福祉センター4F ボランティア研修室

活動内容 各区災害ボランティアセンターの資機材調達、ホームページ等による広報、寄付物品等の受け取り、全体の活動調整(雨天中止の決定等)、マスコミ対応等
区災害ボランティアセンターの支援として、ボランティアリーダー及びボランティア活動者を派遣

閉所日 10月22日(金)



(注2) プロボノ

プロボノ(Pro bono)とは、各分野の専門家が、職業上持っている知識やスキルを無償提供して社会貢献するボランティア活動全般、または、それに参加する専門家自身のことを言います。災害ボランティア活動では、重機を使用する活動や屋根のブルーシート張り等一般のボランティアでは対応が難しい活動を行っています。

3 活動実績

区	地区	ニーズ総数 (完了数)	延べボランティア 活動件数	延べボランティア 活動者数
西区	田方	23件	77件	731人
	己斐上	5件	7件	39人
	山手町	1件	1件	6人
	計	29件	85件	776人
安佐南区	山本	12件	22件	211人
	上安	5件	11件	176人
	伴	2件	5件	211人
	緑井	2件	2件	8人
	計	21件	40件	606人
佐伯区※	下河内	4件	6件	26人
広島市	合計	54件	131件	1,408人

※ 佐伯区における支援活動については、被災世帯が少なかったため、災害ボランティアセンターの開設は行わず、区社協ボランティアセンターの取組として支援活動を行いました。

【佐伯区河内地区の活動の様子】



4 被災区社会福祉協議会の動き

(1) 西区災害ボランティアセンターの活動

西区社協では、発災直後の8月15日(日)、市社協とともに現地確認を行い、8月18日(水)に広島市・安佐南区の各災害ボランティアセンターと同時に、西区災害ボランティアセンター(以下、「災害ボラセン」)を開設しました。

開設場所は、西区地域福祉センター4階としました。

1 地域組織とのつながり

当初区社協で把握した被災地は、古田台学区の田方と、己斐上学区の己斐上五丁目でした。被災状況は深刻でしたが、範囲としては局地的であったため、田方については古田台学区社会福祉協議会、己斐上五丁目については己斐上学区社会福祉協議会の了承の下で己斐上五丁目町内会と支援について協議を行い、それぞれと連携しながら災害ボラセンの活動を進めました。

三篠地区の山手町においても被災世帯がありましたが、当初区社協ではニーズを把握しておらず、被災者が町内会に相談したことにより、町内会から区役所に連絡が入り、西区災害ボラセンとして支援を行いました。

2 西区災害ボラセンの特徴

この度の大雨災害では、発災後も連日雨が降り続き、被災地に出た避難指示がなかなか解除されませんでした。そのため、社協の災害ボラセンでは、ボランティアの派遣ができない状況が続きました。

また発災時は、新型コロナウイルス感染症の第5波の拡大時期でもあり、広島県のまん延防止等重点措置が発出されようかとしている状態でした。過去2度の市域での災害ボラセン運営の経験から、ボランティアの一般募集に踏み切ればボランティアに多数来てもらえることは予測されましたが、この状況下では、大勢のボランティアが集まり密になることで新型コロナウイルスの感染が拡大することを懸念せざるをえませんでした。

そのため、地域組織と協議の結果、まずは被災地域の住民に限ったボランティア募集と、これまでの災害ボラセン活動の中で市・区社協が連携をしてきた組織の関係者との連携による地域支援という形で、8月22日(日)からボランティアの派遣を始めました。

避難指示はその後8月25日(水)に解除となり、地域組織と協議の結果、9月1日(水)から災害ボランティアの一般募集を開始しました。なお、募集にあたって令和3年7月から広島県社協にて運用されていたICT活用による災害ボランティアの「事前登録システム」を活用することにより、最適な人数のボランティアに参加してもらえました。

活動期間中は、検温や問診票の提出、手指消毒やうがい等を入念に行う事を参加者に呼びかけ、閉所まで徹底した新型コロナウイルス対策を行いました。



【QRコードで読み取る問診票】



【受付の様子】



【感染対策でバスの座席を養生窓を開け車内換気を実施】

3 田方での活動

田方においては、被災現場に近い田方第四公園に田方災害ボランティアステーションを開設し、古田台学区社会福祉協議会が、8月22日(日)から毎日型で運営をされました。古田台学区社協の会長が毎日被災世帯を回り、ニーズの確認が行われるとともに、民生委員やふれあい・いきいきサロンの世話人に声掛けをされ、被災者の状況確認やステーションの運営支援に協力をしてもらいました。活動期間を通じて、町内会の呼びかけによって多くの地元住民が災害ボランティアとして活動されました。

西区の災害ボラセンは、物資の調達や地元ボランティアの活動を支援するボランティアリーダーの派遣、また、一般募集開始後にはボランティアの募集と派遣を行いました。

田方災害ボランティアステーションの活動は、被災世帯の泥掻きや片付けに一定の目途が立ったという地元判断の下、9月13日(月)の活動を持って活動終了となりました。この間、雨天や被災者・活動者の休息のために設けた休日を除き、20日間の活動を行いました。



【田方 活動前のオリエンテーション】



【プロボノ団体と連携した床下の土砂撤去】

4 己斐上五丁目での活動

己斐上五丁目においては、己斐上第二公園に己斐上災害ボランティアステーションを設置しました。運営は、西区災害ボラセンにて行いました。

町内会の方々と区社協職員で被災世帯を回りニーズの聞き取りをした上で、災害ボランティアを調整し、派遣を行いました。活動後は定期的に被災世帯に連絡を入れ、新たなニーズの確認を行い、派遣を調整していきました。

己斐上での活動は、8月22日(日)、25日(水)、28日(土)、9月4日(土)の4日間でした。



【己斐上 オリエンテーション】



【活動の様子】

5 山手町での活動

山手町では、支援を希望されていたのが1世帯のみであったことから、9月21日(火)にボランティアを調整、派遣しました。



【山手町 活動の様子】



6 関係機関による支援

この度の西区災害ボラセンの活動については、様々な組織と個人からご支援をいただきました。行政機関、特に西区役所からは、各種情報や、災害ボランティア活動が安全かつ円滑に行えるように様々な配慮と調整をいただきました。医療機関からは、コロナ禍の大変な時期であったにもかかわらず看護職の派遣をいただきました。近隣の保育施設からは園の駐車場をボランティア用駐車場として提供いただきました。社協独自でボランティアを募集され、支援に参加くださった地区社協もありました。また、社協の災害ボラセンでは対応できない作業についてはプロボノ団体等に対応をしてもらい、社協のボランティアと連携して支援活動を行いました。

その他活動資金・資材の提供・供与・橋渡し、知識・経験則の伝授、作業への参加等々、多くの皆様の支えにより活動ができました。

7 専門職による訪問活動及び災害ボランティアセンターの閉所

9月の後半には、ほぼ支援を完了することができ、閉所に向けた動きを始めました。

9月26日(日)、広島県災害復興支援士業連絡会の派遣による弁護士・司法書士、西区役所地域支えあい課の保健師と西区社協職員がチームとなって、田方・己斐上の被災エリアの各世帯を回り、生活状況を確認するとともに、西区災害ボラセン閉所のお知らせとその後の相談先を記載したちらしと支援グッズをお渡ししました。

この訪問を最後に、9月末を持って、西区災害ボランティアセンターを閉所しました。



【活動資機材】

片づけや清掃、生活のお困りごとにボランティアがお手伝いします

西区ボランティアセンターへ ご相談ください

令和3年8月大雨による災害により、被害を受けた住民の皆さまには
心よりお見舞い申し上げます。

西区社会福祉協議会では災害にあわれた皆さまが
一日も早く日常生活を再開され、安心した生活が送れるよう、
「ボランティアの支援を受けたい」皆さまと、「被災者を支援したい」ボランティア、
双方の思いをつなぎ、実際の支援活動に結びつけるため、
西区災害ボランティアセンターを設置しておりましたが、9月末に閉所の予定です。
今後は西区ボランティアセンターにてご自宅の清掃や片づけ、
生活のお困りごとなどで相談に応じます。
またご近所に支援が必要な人、困っている人がおられましたら、お気軽にご連絡ください。

ボランティアの依頼方法

電話、FAX、メールで西区ボランティアセンターまでご相談ください。
(代理人の方がご連絡いただく場合は、ご本人と連絡がとれる
連絡先もお知らせください。)

◆西区ボランティアセンター
(住所) 広島市西区福島町2丁目24-1
西区地域福祉センター4階
(電話) 082-294-0104
(fax) 082-291-7096
(メール) nishi@shakyohiroshima.or.jp

◆ご連絡いただきたい内容
お名前、連絡先、希望日時、活動場所、希望内容ほか
(ボランティア活動人数、活動機材など相談させていただきます。)

広島市西区社会福祉協議会 西区ボランティアセンター
☎082-294-0104 広島市西区福島町2丁目24-1
fax082-291-7096 受付8:30~17:15(平日)
メール:nishi@shakyohiroshima-city.or.jp

【閉所のお知らせのちらし】

8 その後の取組

西区災害ボラセン閉所後も、必要に応じて被災地で活動をされているグループがあります。西区社協では、必要に応じて資材を提供したり、個別訪問に同行したりしています。

また、被災住宅を改修し、協同労働の仕組みを活用して開設された地域交流の場について、地元とのつなぎや広報の協力を行いました。

令和4年3月6日(日)には、西区役所、西消防署、西区自主防災会連合会と共催で「西区防災講演会」をオンラインで開催し、古田台学区社会福祉協議会会長から田方での活動報告をいただくとともに、西区災害ボラセンの活動報告も行いました。

その後、区内で行われた避難訓練や災害をテーマとしたイベントにも参加し、災害ボラセンの活動についてパネル展示等で紹介しました。

なお、この度の災害ボランティア活動においては、②で述べたような状況から西区ボランティアセンター利用者連絡会登録団体等の関係団体への協力依頼は見送りました。しかし、今後のためにも、区民および区社協関係団体に防災と災害時の支援活動に関する意識を醸成していくことは大切であることから、令和5年2月6日(月)、西区ボランティア研修会・西区地域福祉センター福祉講演会として、防災と災害時に自分たちでできることを考えてもらう内容で研修会を開催しました。



● 西区災害ボランティアセンター ●

開設日 8月18日(水)

開設場所 西区地域福祉センター4階(西区福島町二丁目24-1)

受付時間 9:15～9:30

活動時間 10～13時(14時活動終了)

活動内容 住居内の片付けや泥かき等

ボランティア募集範囲 広島市内在住者

ボランティア募集人数 1日あたり15名程度

活動場所 田方、己斐上、山手町

活動拠点 田方第四公園、己斐上第二公園

閉所日 9月30日(木)

活動件数 延べ85件

活動人数 延べ776名



活動終了後のボランティア受入の様子

4 被災区社会福祉協議会の動き

(2) 安佐南区災害ボランティアセンターの活動

安佐南区社協では、発災直後の8月15日(日)に被災状況把握のため、山本地区の現地確認を行い、安佐南区災害ボランティアセンター(以下「災害ボラセン」)の開設準備を進めました。当日は、区内のボランティアグループの方やNPO団体等の協力により、翌日からの支援活動の動きや毘沙門台学区社協で保管いただいていた必要資材等についての提供も行いました。併せて、これまでの災害の教訓から、行政と連携し、被災状況や避難所開設等の情報共有も図りました。

8月16日(月)には、区内学区社協等に災害状況確認を行い、また安佐南区災害ボラセン本部を安佐南区地域福祉センター内に設置し、特に被害の大きかった山本地区では、被災地に近い丸子集会所をサテライトとして利用できるよう、地元連合自治会、山本及び春日野自主防災会、学区社協、NPO団体等と協議を行いました。同時に、学生ボランティアに声かけを行い、災害ボラセン開設のちらしを作成いただき、避難所や公共施設に持参し周知をはかりました。

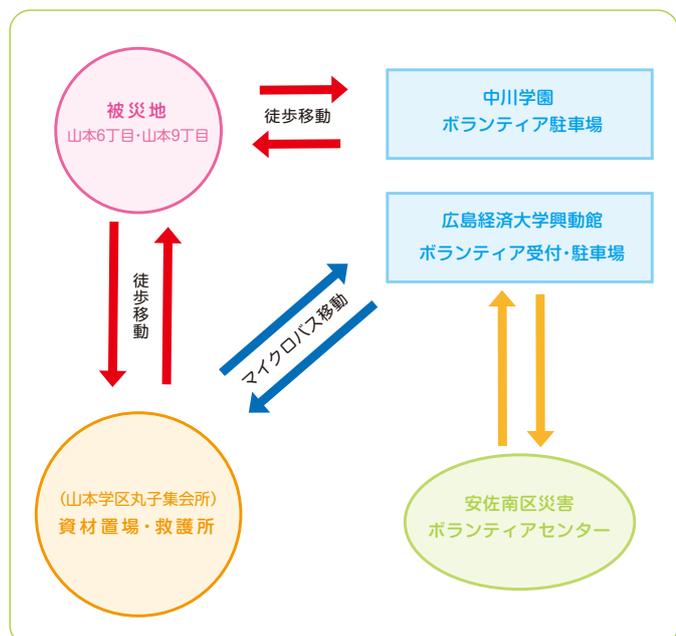
8月17日(火)広島経済大学興動館にボランティア受付・駐車場の設置を行い、8月18日(水)に安佐南区災害ボラセンを開設しました。

8月19日(木)、20日(金)は、地元住民や区内の有志により土砂撤去が行われ、8月22日(日)から地域住民を中心としたボランティアの受入と活動を始めました。コロナ禍の活動のため、検温や問診票等による健康チェック、手指消毒やマスク着用、活動者同士の間隔を保ちながらのボランティア活動となりました。

8月27日(金)からは、ボランティア募集や登録をインターネットを用いたシステムを取り入れることにより、コロナ禍でも安心して活動できることになりました。



【山本地区の対策会議の様子】



1 自治会や町内会、企業等との協働

災害が発生してからの復旧活動において、被災地域の学区社協、町内会や自治会、自主防災会、企業などの協働により支援活動を行いました。山本地区では、地元自治会に快諾いただいたことにより、ボランティア活動の拠点となるサテライトを丸子集会所に設置することができました。丸子集会所では、地元自治会の協力があって、ボランティア活動者の休憩だけでなく、活動資機材や救援物資等の保管場所として活用できました。

8月19日(木)から9月15日(水)まで、ボランティア活動者等の受付や駐車場、仮設トイレ設置場所として、広島経済大学興動館、中川学園の所有地を利用させていただきました。

また、伴地区では、地元連合町内会の声かけにより、土砂撤去に多くの地元住民が協力し、安北地区(上安7丁目)でも、地元町内会と地元企業(建設業)の協働がありました。

2 専門職による訪問活動

士業連絡会(弁護士や司法書士)の協力のもと、被災地の山本6丁目や山本新町1丁目、上安7丁目を中心に個別訪問を行い、生活再建に向けた支援を行いました。

3 災害ボランティア活動等の様子

【ボランティア受付】



【受付時の消毒や検温】



【受付時のQRコード】



【オリエンテーションで配布】

活動上の注意事項

○**現地では**
 現場に集いたら…
 ＊安佐南区災害ボランティアセンターから来た止むべき止むべき止むべき
 ＊作業の進捗状況を確認してください。
 ＊室内の場合は、靴を脱ぐかどうかを確認してください。

○**作業中は**
 ＊活動で得た個人情報等を他人に伝えないようにしてください。
 ＊被災された家等の写真を撮ったり、SNS等に載せないでください。
 ＊作業は十分に注意してください。
 ＊危険な作業やできないことは断ってください。
 ＊ものおぼれで事故や怪我等に注意しましょう。
 ＊けがをしたら現地スタッフに連絡してください。
 ＊判断に困ったら現地スタッフに連絡してください。

○**作業終了**
 終了したら(時間が来たら)…
 ＊作業は、時間がきたら終了してください。やり残したことがあれば、現地スタッフに報告してください。
 ＊自分の荷物を忘れずにお持ち帰りください。
 ＊作業の遅れを減らし、手洗い・うがいもしてください。
 ＊ボランティアセンターから借りたものは、忘れずにお返しください。
 ＊帰る際には必ず、現地スタッフに声をかけてお帰りください。

○**コロナウイルス対策にご協力ください**
 ＊活動中やアスレチックで遊ぶときは、体調が悪くなった場合は退場してください。
 ＊アルコール消毒、手洗い、うがいも必ず行ってください。
 ＊なるべく密を避けて活動してください。
 ＊作業中マスクを外している時の会話等は控えください。
 ＊帰る際は37.5度以上の発熱、体調の悪い方は活動できません。

お疲れ様でした！ 気を付けて帰りましょう。

当日活動受付用 QR コード
 当日活動される方は、必ずこちらからご登録ください。

・体調を測ってください。
 ・ボランティア保険に加入してください。
 ・QR コードから登録できない場合はスタッフへお声かけください。

安佐南区災害ボランティアセンター

ボランティア活動中の緊急連絡先: 080-2914-8207
 ※現地スタッフのピアスを着た場合は、現地スタッフにお声かけください。

【丸子集会所内休憩所】



【山本・丸子集会所】



【被災地域への配布ちらし】

安佐南区災害ボランティアセンターの
 お知らせ
 ～家の清掃や片付け、生活の困りごとに
 ボランティアがお手伝いします～

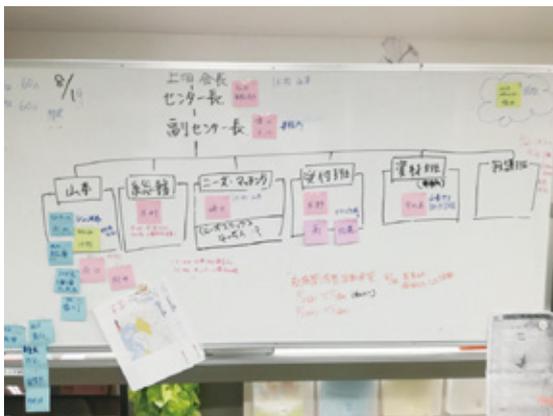
ご自宅の清掃や片付け、生活の困りごとなど
 お気軽にご相談ください。
 また、ご近所に支援が必要の方、困っている方が
 おられましたらご連絡ください。費用はかかりません。

〈ボランティアの依頼方法〉
 電話か来所でごセンターまでお申し込みください。
 ☆安佐南区災害ボランティアセンター
 住所 広島市安佐南区中須1-38-13 (安佐南区総合センター内)
 電話番号 080-2914-8216
 080-2914-8217

☆受付時間 電話/9:00-16:00
 (依頼専用)

ご連絡いただきたい内容
 お名前、連絡先、希望日時
 活動場所、希望内容、希望人数
 活動機材の有無、駐車場の有無
 ※ご希望に添えられない場合や
 すぐの対応が難しい場合がありましますご了承ください。

【災害ボランティアセンターの体制】



4 安佐南区災害ボランティアセンター閉所後の取り組み

9月に入り雨が続いていましたが、9月12日(日)に受付ニーズのあったボランティア活動が完了し、新規ニーズの相談も無くなったため、9月30日(木)に安佐南区災害ボランティアセンターを閉所しました。

その後も大雨警報等が発令された場合は、安佐南区ボランティアセンターにより次の地域において訪問や電話による状況確認を現在も引き続き行っています。

上安

上安の高齢者夫婦世帯では、大雨に備え土のうを積み、床下に雨水が入ってこないよう策を講じることもありました。

山本

山本9丁目では、定期的に世帯訪問を続け、高齢者世帯では、生きがいつくりのため営まれていた畑で収穫された野菜を話題に、健康状態や生活状況をきかせていただきました。

山本6丁目の被災地自治会では、週1回山本学区社協で実施されている100歳体操を、高齢者いきいきポイント事業に関連して貸出しているタブレット端末を活用して、丸子集会所でもサテライト場所として実施されました。参加人数は少数でありましたが、被災後の大切なコミュニケーションの場になり、現在も続けられています。その他にも、自主防災会の声かけによりラジオ体操も開催されました。令和4年11月には「むすび塾」として、東日本大震災を体験された石巻市の民生委員児童委員等や地元祇園にある広島経済大学と共に、被災の経験を通じて、避難方法等の意見交換も実施されました。

春日野

山本新町1丁目のある春日野地区では、災害をきっかけに地元高齢者施設との結びつきがより深まり、地域全体で防災意識の向上が図られました。

伴

伴中央1丁目の被災者宅訪問も、大雨警報の発令時だけではなく、季節の変わり目などには、地域包括支援センター職員と訪問して、健康状態等の確認に努めています。

【むすび塾での避難訓練の様子】

【山本6丁目 丸子集会所での100歳体操の様子】



● 安佐南区災害ボランティアセンター ●

■開設日■ 8月18日(水)

■受付場所■ 広島経済大学 興動館 駐車場(安佐南区祇園5丁目1-27)

■受付開始(集合時間)■ 9:00

■活動時間■ 10~13時(14時活動終了)

■活動内容■ 住居内の片付けや泥かき等

■ボランティア募集範囲■ 広島市内在住者

■ボランティア募集人数■ 1日あたり20名程度

■活動場所■ 山本、上安、伴、緑井

■活動拠点■ 丸子集会所(山本)他

■閉所日■ 9月30日(木)

■活動件数■ 延べ40件

■活動人数■ 延べ606名



ボランティア受付の様子

5 対応経過

月 日	気象状況等	広島市社会福祉協議会 区社会福祉協議会	市災害 ボランティア本部	区災害ボランティア センター(西・安佐南)
8/13(金)	大雨特別警報発令 ※未明に解除			
8/14(土)	大雨特別警報再発令 ※夕方に土砂災害発生			
8/15(日)		被災地現地踏査		
8/16(月)		臨時事務局長会議 ●各区の被災状況について情報交換	災害ボランティア活動連絡調整会議(市社協・ひろしまNPOセンター、広島市で対応協議) ⇒広島市災害ボランティア本部の設置準備開始	◆安佐南区 ●山本六丁目災害復旧ボランティア対策会議に参加
8/17(火)		臨時事務局長会議 ●被害の大きかった西区・安佐南区に区災害ボランティアセンターの設置準備開始		
8/18(水)		広島県社協との情報共有会議	●広島市災害ボランティア本部開設	●西区・安佐南区災害ボランティアセンター開設 ●田方地域(西区)の災害対応協議に参加
8/19(木)			●災害ボランティア活動連絡調整会議(発災後第1回)	●己斐上五丁目町内会の正副会長と協議
8/22(日)			●西区田方地域において連絡調整会議構成団体メンバーがボランティアリーダーとして活動	●地域住民+連絡調整会議構成団体によるボランティア活動が開始
8/25(水)	●避難指示解除 ●広島県が緊急事態宣言の対象地域へ			
8/27(金)				◆安佐南区 ●事前登録システムを活用したボランティア活動開始

月 日	気象状況等	広島市社会福祉協議会 区社会福祉協議会	市災害 ボランティア本部	区災害ボランティア センター(西・安佐南)
9/1(水)				◆ 西区 ● 事前登録システム を活用したボラン ティア活動開始
9/11(土)				◆ 西区 ● 己斐上での受付 ニーズへの対応完了
9/12(日)				◆ 安佐南区 ● 受付ニーズへの 対応完了
9/13(月)				◆ 西区 ● 田方での受付 ニーズへの対応完了
9/15(水)			● 災害ボランティア 活動連絡調整会議 (発災後第2回)	
9/21(火)				◆ 西区 ● 山手町での受付 ニーズに対応、 同日完了
9/30(木)				● 西区・安佐南区 災害ボランティア センター閉所 ⇒ 被災者支援活動は 通常の社協業務の 中で継続
10/2(土) 10/3(日)				◆ 佐伯区 ● 下河内地区の 被災世帯の支援活動 を区ボランティア センターの活動で 実施
10/22(金)			● 広島市災害 ボランティア本部 閉所	

災害ボランティアセンター三者(市・西区・安佐南区)会議(Zoom)

※市本部、西区、安佐南区の情報共有会議を開催

8月25日(水)、8月31日(火)、9月8日(水)、9月21日(火)

6 関係機関・団体との連携

1・広島市災害ボランティア活動連絡調整会議構成団体との連携

広島市災害ボランティア活動連絡調整会議の構成団体から多くのご支援をいただきました。連携の一例を紹介いたします。

① 災害ボランティア活動のリーダー派遣

西区田方地域では8月22日(日)からスタートするボランティア活動に向け、町内会を通じてボランティアを募ったところ、多くの地域住民の参加が見込まれましたが、ほとんどの方が災害ボランティア活動の経験がなく、不安に思っていました。

西区災害ボラセンを通じて、市災害ボランティア本部に相談が入ったため、連絡調整会議の構成団体にボランティア活動のリーダーの派遣依頼を行い、地域住民の方と一緒に活動いただきました。

② 広島県災害復興支援士業連絡会と連携した個別訪問活動

西区社協職員が被災世帯の個別訪問を行う際に、弁護士等法律の専門家と一緒に訪問することにより、被災者支援につなげたい旨の相談が西区災害ボラセンから市災害ボランティア本部へありました。

連絡調整会議構成団体の広島県災害復興支援士業連絡会に依頼したところ、快諾いただき、9月26日に西区役所保健師、西区社協職員、士業連絡会のメンバー(弁護士・司法書士)で被災世帯の個別訪問を実施しました。

個別訪問において、各種手続きに困っている方々がおられたのですが、士業連絡会のメンバーから手続き方法について丁寧に説明いただきました。

2・看護師の派遣

熱中症予防や新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記病院等から西・安佐南区災害ボラセンへ看護職の派遣を行っていただきました

- 広島共立病院／福島生協病院／草津病院／日本赤十字広島看護大学

3・ボランティア用駐車場等の提供

下記大学・施設からボランティア活動者の受付場所および駐車場を提供していただきました。

- 広島経済大学興動館：ボランティア活動者の受付場所、駐車場を提供
- みどりの森 みらい保育園：ボランティア用駐車場を提供

4・プロボノ団体との連携

被災者支援活動についての経験が豊富なプロボノ団体である「コミサポひろしま」と連携し、家屋内に入った土砂を重機を使って撤去したことにより、想定より早く復旧作業を行うことができました。

5・助成金・支援金等

項目	金額
全国社会福祉協議会(地域福祉推進委員会・福祉救援制度による資金援助)	400,000円
広島県共同募金会災害準備金	6,079,296円
ボランティア活動支援金	200,000円
合計	6,679,296円

7 被災者支援活動の成果と課題

1・成果

① コロナ禍での活動の工夫

被災者の支援活動をスタートしたときに、広島県には「まん延防止等重点措置」が発令されていました。そのため、コロナ感染を「持ち込まない」「持ち帰らない」「広げない」ことへの配慮を行いながら、被災者支援のボランティア活動を行うことが必須でした。

医療職や区役所地域支えあい課の保健師等専門職の方々に支えていただきながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のために行った取組は以下のとおりです。

- 体温測定、マスク着用、手指消毒を、ボランティアだけではなく、スタッフ、ボランティアの支援を受ける被災者の方にもお願いする。
- 活動中はできるだけボランティアどうしの距離を開ける等「三密」の回避に努める。
- ボランティア送迎用マイクロバスの車内換気、座席の消毒等を徹底する。
- ボランティア募集範囲を広島市内在住者に限定する。
- ボランティア募集人数を10名～20名程度と少人数にする。

上記のとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限の配慮を行ったおかげで、災害ボランティアセンターの活動において新型コロナウイルスに感染した方(スタッフ・ボランティア・被災者)はいませんでした。

2 ボランティアの事前登録

令和2年度から広島県社会福祉協議会において災害ボランティアの「事前登録システム」の検討が行われ、発災直前の令和3年7月からシステムの運用が始まっていました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大勢のボランティアに参加いただくことが難しかったため、このシステムを活用してボランティアの募集・受付を行いました。

システムを活用して良かった点は以下のとおりです。

- 数日単位でボランティアの募集人数を決め受付を行ったため、ボランティア参加者数の見立てができた。
- QRコードを活用した当日受付を行うことにより、受付が密になることがなかった。

また、災害ボランティア活動に関する情報を広島県社会福祉協議会の特設サイト(ホームページ)に集中して掲載したおかげで、電話での問い合わせ等も少なく、スタッフの負担軽減につながりました。

3 地域団体との連携

西区田方地域においては、被災現場に近い田方第四公園に田方災害ボランティアセンターを開設し、古田台学区社会福祉協議会が中心となって被災者支援活動を行われ、その活動を西区災害ボラセン及び市災害ボランティア本部がサポートする形となりました。被災者と顔見知りの地域住民の方が中心となって活動したおかげで、被災者が安心してボランティアを受け入れることができました。

安佐南区山本地域においては、被災現場に近い丸子集会所に安佐南区災害ボラセンのサテライトを設置し、ボランティア活動者の休憩だけではなく、活動資機材や救援物資等の保管場所として活用しました。

その他の地域においても、被災地域の地区社協、町内会連合会等地域団体と連絡・調整を行いながら被災者支援活動を行いました。

4 プロボノ団体等得意分野を活かした活動

今回の災害対応において家屋の床下に流入した土砂撤去への対応が課題となりました。一般ボランティアだけでは床下への対応は難しい状況でしたが、支援に駆けつけていただいたコミサポひろしまと調整を行い、床板を剥ぎ⇒釘を抜いて安全な状態にする作業までをコミサポひろしまが行い、床下の土砂掻きはボランティアが対応。土砂撤去後の乾燥消毒⇒床板設置をコミサポひろしまが行うといった分担作業を行ったおかげで、被災者への支援活動がスムーズに行えました。

5 災害に備えた取組が活かされた

平成27年度から区社協と区役所によって区災害ボランティアセンターの設置場所、資材・物資の提供等、設置・運営に係る協議を毎年行っていたため、顔のつながった関係性ができており、連携して被災者支援活動を行うことができました。

また、平成30年7月豪雨災害の際に集まったボランティア活動支援金等を活用し、安佐北区スポーツセンターに倉庫を設置し災害用資機材を保管していました。今回の災害においてこの資機材を活用することができたため、災害ボランティアセンターの立ち上げ準備をスムーズに行うことができました。

2・課題

1 医療職・看護職の確保が困難

熱中症予防や新型コロナウイルス感染拡大防止のため、医療職・看護職の配置は必須ですが、新型コロナウイルス感染症への対応等のため、当初は確保が難しい状況でした。

平成26年8.20広島土砂災害への活動以降つながりのある病院や日常業務で連携のある病院等を中心に看護職の派遣にご協力いただいたおかげで、医療職・看護職の配置を行うことができ、ボランティア活動の安全確保ができました。

2 避難指示が発令されている中で災害ボランティア活動を行う判断について

避難指示が発令されている時は二次災害発生の危険性が高いため、災害ボランティア活動を行うことは原則禁止としています。

今回の災害対応においても、雨天が続き、避難指示がなかなか解除されない状況でしたが、被災地域の住民の方々から「出来るだけ早く被災者の支援を行いたい」という要望があったため、被災地域の住民の活動を支援する形でボランティア活動をスタートしています。

なお、①雨雲レーダー等で絶えず天候の確認を行い、雨天の予報となっていないこと、②連絡調整会議のメンバーが現場リーダーとして地域住民と一緒に活動しているため危険性の判断が迅速に行えること、③地域住民同士の顔がつながっており、リーダーの指示に従っていただけること等、二次災害発生防止の体制を整えた上で活動を行う判断をしました。

3 災害ボランティア活動の活動状況の情報発信が不十分であった

災害ボランティアの募集・受付に関する情報については、広島市社協、広島県社協の特設サイト(ホームページ)に掲載し、活動希望者へ情報を発信していましたが、日々の活動状況についての情報発信があまり行えませんでした。

今回の活動において、ボランティアが不足する状況ではなかったのですが、大勢のボランティアの協力を求める際には、Facebook等を活用し、絶えず情報発信を行い、ボランティア参加者を募っていく必要があると思われます。

8 支援に携わった関係団体からの声

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター
事務局長 松原 裕樹



ひろしまNPOセンターは、ゆたかな市民社会の実現に向けて、NPOやボランティア活動の支援、地域課題の解決に向けた多様な主体との協働に取り組んでいます。広島市災害ボランティア活動連絡調整会議においては、副議長という立場から議長を務める市社協や構成団体の皆さんのサポート役を担当しています。

令和3年8月の大雨による災害では、広島市西区(田方、己斐上)及び安佐南区(山本、伴、上安)等が被災し、コロナ禍での支援ということで、これまでとは全く異なる状況での活動が余儀なくされました。

発災直後、私たちはすぐに連絡調整会議を開催し、広島市災害ボランティア本部と各区の災害ボランティアセンターの立ち上げ準備に入りました。それと同時に、被災された方の状況や支援活動を行うための環境整備について地元関係者に確認を行いました。そこで大きな問題となったのが、コロナ禍の感染拡大防止の判断から大人数の一般ボランティアを市内外から集めて現地に入ることができないという事情でした。

しかし、幸いなことに被災地域の近隣住民の方々がボランティアに立ち上がってくださいました。ただし、ほとんどの方が災害ボランティアの経験がないということで、広島市災害ボランティア活動連絡調整会議の構成団体に呼びかけを行い、災害支援の経験者がリーダーとなって地元ボランティアの皆さんとの支援活動を展開しました。

そのような事情や降り続く雨の危険性により既に発災から1週間が経ってからの活動開始となりましたが、区社協や自治会、たくさんの地元住民のご協力もあり、災害支援の経験者と初心者がチームとなって土砂撤去や家財の搬出等の活動を進めることができました。そして、発災直後から重機等で支援を行っていただいたコミサポひろしまの存在も大きな力でした。



この度の災害支援においてこのような対応ができたのは、コロナ禍になってから連絡調整会議において事前に協議していたことが功を奏したこともあり、備えの大切さを改めて強く感じました。また、一方でコロナ禍のような様々な事情から想定外のことにも対応していくために、地域での自律的な自主防災の体制づくりや災害ボランティアセンターでは対応できない場合の支援スキームなど、これからも皆さんと備えていきたいと思えます。

資料① 事前登録災害ボランティア募集チラシ

令和3年度

広島県
災害支援

事前登録 災害ボランティア募集

災害に備え、ボランティアの登録をはじめました
もしもの時のために、あなたの力を貸してください

募集対象	広島県内在住者（個人・高校生以上） <small>※ただし、広島県に隣接し、生活圏を同じくする県外在住者も含む。</small>
活動内容	県内発災時の被災者支援活動（住家などの生活復旧活動 等）
募集開始	令和3年7月6日（火）
登録期間	事前登録ボランティアは毎年度新規募集します。 <small>※登録は自動継続しないため、毎年度の新規登録手続きが必要です。 ※募集時期は毎年度4月頃を予定しています。</small>

活動までの流れ（イメージ）

①
事前登録

②
活動予約

③
当日活動

災害発生

- ① ボランティアの情報を Web フォームから事前登録
- ② 災害発生後に送付するメール案内から活動日時・場所等を予約登録
- ③ 当日活動時には QR コード活用等による分散受付、分散待機

※登録後、災害支援に関する運営訓練等の案内やアンケート等をお送りする場合があります。
※②、③は被災規模・内容等により別の手段で実施する場合があります。

事前登録はコチラ

【問い合わせ】

(社福) 広島市社会福祉協議会	Tel:082-264-6408	e-mail:vol.touroku@gmail.com (共通)
(社福) 広島県社会福祉協議会	Tel:082-254-3506	

20210817

資料 ② 令和3年8月11日からの大雨に伴う
災害ボランティア事前登録の流れ



資料③ 災害ボランティアの支援に係る問診票兼同意書

災害ボランティアの支援に係る問診票 兼 同意書

〇〇区災害ボランティアセンター

〇〇サテライト

今朝の体温	℃	☑を入れてください	
問 い		はい	いいえ
体調が悪い		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
過去2週間以内に新型コロナウイルス陽性と診断された方と濃厚接触があった。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
過去2週間以内に海外及び感染が拡大している地域に行った。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
過去2週間以内に右記に当てはまる症状があった。	強いだるさ(倦怠感)があった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	息苦しさ(呼吸困難)があった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	咳が長く続いている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	味覚・臭覚異常があった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	咽頭痛があった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	関節痛があった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	鼻汁がでた。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	下痢があった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	吐き気・嘔吐があった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
腹痛があった。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※上記のうち、1つでも該当すればボランティア活動をお断りしています。

事前にPCR検査を受けた方、新型コロナウイルスのワクチン接種を受けた方は、下記に☑を入れてください

月 日にPCR検査を受け、陰性であった。	<input type="checkbox"/>
月 日に、ワクチン接種の2回目を受けた。	<input type="checkbox"/>

【同意書】

私は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表面に記載されている事項について同意します。

令和 年 月 日

氏 名

連絡先(TEL)

■同意事項について

被災者支援に関するボランティア活動中または活動終了後、私が新型コロナウイルスの感染を疑われ、PCR検査を受けた場合に、検査を受けた旨及び検査結果を当災害ボランティアセンターへ報告することについて同意します。

被災者支援に関するボランティア活動中または活動終了後、私が新型コロナウイルス陽性と診断された場合に、登録した情報および活動状況を当地域の保健所へ情報提供することについて同意します。

次のとおり個人情報を取り扱うことに同意します。

・記載された個人情報は、当災害ボランティアセンターが行う被災者支援のボランティア活動にのみ使用します。

・あらかじめ明示した範囲及び法令等の規定に基づく場合を除き、本人の同意なしに第三者に個人情報を提供しません。

・記載された個人情報について、開示・訂正・追加・削除・利用停止の申出があった場合には速やかに対応します。

資料④ 西区災害ボランティアセンター閉所のお知らせ

片づけや清掃、生活のお困りごとにボランティアがお手伝いします

西区ボランティアセンターへ ご相談ください

令和3年8月大雨による災害により、被害を受けられた住民の皆さまには
心よりお見舞い申し上げます。

西区社会福祉協議会では災害にあわれた皆さまが
一日も早く日常生活を再開され、安心した生活が送れるよう、
「ボランティアの支援を受けたい」皆さまと、「被災者を支援したい」ボランティア、
双方の思いをつなぎ、実際の支援活動に結びつけるため、
西区災害ボランティアセンターを設置しておりましたが、9月末に閉所の予定です。
今後は西区ボランティアセンターにてご自宅の清掃や片づけ、
生活のお困りごとなどご相談に応じます。

またご近所に支援が必要な人、困っている人がおられましたら、お気軽にご連絡ください。

ボランティアの依頼方法

電話、FAX、メールで西区ボランティアセンターまでご相談ください。
(代理人の方がご連絡いただく場合は、ご本人と連絡がとれる
連絡先もお知らせください。)

◆西区ボランティアセンター

(住所) 広島市西区福島町2丁目24-1
西区地域福祉センター4階

(電話) 082-294-0104

(fax) 082-291-7096

(メール) nishi@shakyo-hiroshima.or.jp

◆連絡いただきたい内容

お名前、連絡先、希望日時、活動場所、希望内容ほか
(ボランティア活動人数、活動機材などご相談させていただきます。)

広島市西区社会福祉協議会 西区ボランティアセンター

☎082-294-0104 広島市西区福島町2丁目24-1

fax082-291-7096 受付8:30~17:15(平日)

メール:nishi@shakyohiroshima-city.or.jp

安佐南区災害ボランティアセンターの
お知らせ
～家の清掃や片付け、生活の困りごとに
ボランティアがお手伝いします～

ご自宅の清掃や片付け、生活の困りごとなど
お気軽にご相談ください。

また、ご近所に支援が必要な方、困っている方が
おられましたらご連絡ください。費用(かかりません)。

〈ボランティアの依頼方法〉

電話か来所で当センターまでお申し込みください。

☆安佐南区災害ボランティアセンター

住所 広島市安佐南区中須1-38-13 (安佐南区総合福祉センター内)

電話番号 . 080-2914-8216

. 080-2914-8217

☆受付時間 電話/9:00~16:00

(依頼専用)

☆連絡いただく内容

お名前、連絡先、希望日時

活動場所、希望内容、希望人数

活動機材の有無、駐車場の有無

※ご希望にお応えできない場合や

すぐの対応が難しい場合がありますのでご了承ください。



資料⑥ 安佐南区災害ボランティアセンター オリエンテーション配布資料

活動上の注意事項

○現地では

現地に着いたら…

- *「安佐南区区災害ボランティアセンターから来ました」と伝えてください。
- *作業内容を依頼者に再確認してください。
- *室内の場合は、靴を脱ぐかどうかを確認してください。

○活動(作業)

作業中には…

- *活動で得た個人情報了他の人に伝えないようにしてください。
- *被災された家等の写真を撮影したり、SNS 等に載せないでください。
- *休憩をとりましょう。
- *安全には十分に注意してください。
- *危険な作業やできないことは断ってください。
- *ものを捨てる前に依頼者に確認しましょう。
- *けがをしたら現地スタッフに連絡してください。
- *判断に困ったら現地スタッフに連絡してください。

○作業終了

終了したら(時間が来たら)…

- *作業は、時間がきたら終了してください。やり残したことがあれば、現地スタッフに報告してください。
- *自分の荷物を忘れずにお持ち帰りください。
- *長靴の泥を落とし、手洗い、うがいをしてください。
- *ボランティアセンターから借りたものがあれば、忘れずにお返しください。
- *帰る時には必ず、現地スタッフに声をかけてお帰りください。

○コロナウイルス対策にご協力ください

- *活動中もマスクをご着用ください。体調が悪くなったら休息を取ってください。
- *アルコール消毒、手洗い、うがいをこまめに行ってください。
- *なるべく密を避けて活動をしてください。
- *食事中(マスクを外している時)の会話はお控えください。
- *体温が 37.5 度以上の方や、体調の悪い方等は活動できません。

お疲れ様でした！気を付けて帰りましょう。

当日活動受付用 QR コード
本日活動される方は、必ずこちら
からご登録ください。



- ・体温を測ってください。
- ・ボランティア保険に加入してください。
- ・QR コードから登録できない場合はスタッフへお声かけください。

安佐南区災害ボランティアセンター

ボランティア活動中の緊急連絡先:080-2914-8207

※現地スタッフ(ヒブスを着た職員)が要る場合は、現地スタッフにお声かけください。



発行年月：令和5年(2023年)3月
発行：社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
〒732-0822 広島市南区松原町5番1号
広島市総合福祉センター内(BIG FRONTひろしま6階)
TEL.082-264-6400 FAX.082-264-6437